

## 令和4年度 学校評価アンケート【まとめ】

質問項目：23項目  
 (県立高校共通質問 13項目 本校独自質問 10項目)

### 《回収率》

生徒 343名中 318名( 92.7%) 保護者 327名中 280名( 85.6%)  
 教職員 50名中 46名( 92.0%)

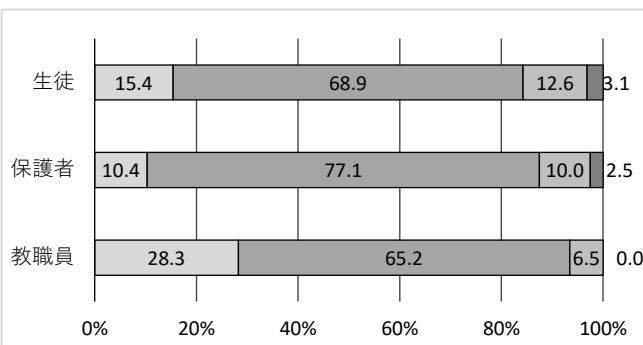
※ 表の( )内の数字は昨年度のものです。

【評価】 1:よく当てはまる 2:だいたい当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:当てはまらない

### [共通質問]

1. お子様の学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。

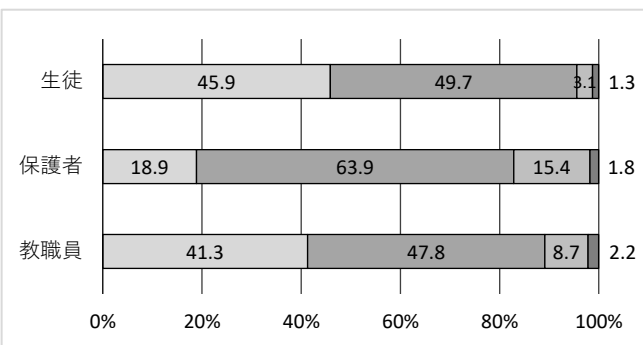
(%)	1	2	3	4
生徒	15.4 (20.1)	68.9 (67.8)	12.6 (11.9)	3.1 (0.2)
保護者	10.4 (13.6)	77.1 (73.4)	10.0 (12.1)	2.5 (0.9)
教職員	28.3 (21.6)	65.2 (70.6)	6.5 (5.9)	0.0 (2)



肯定的な回答が、生徒84.3% (87.9%) は3.6ポイント下降しましたが、保護者87.5% (87.0%) と教職員97.6% (92.2%) ではそれぞれ0.5ポイント、5.4ポイントの上昇しました。生徒との意識の差を埋めながら、今後もより良い授業となるよう改善を図っていききたいと思います。

2. 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。

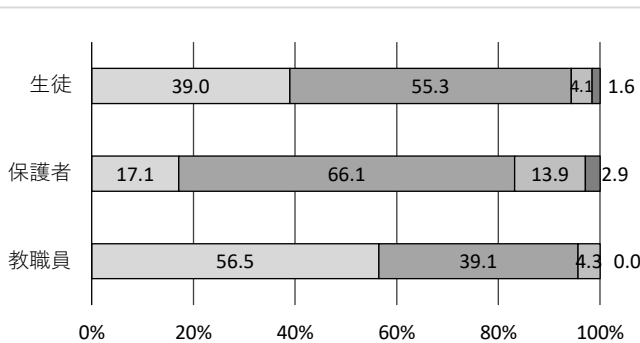
(%)	1	2	3	4
生徒	45.9 (47.2)	49.7 (47.2)	3.1 (4.9)	1.3 (0.7)
保護者	18.9 (24.4)	63.9 (62.9)	15.4 (10.6)	1.8 (2)
教職員	41.3 (31.4)	47.8 (49)	8.7 (15.7)	2.2 (3.9)



すべてのカテゴリーにおいて高い割合で肯定的な回答を得られました。否定的な回答は、生徒4.4% (5.6%) , 教職員7.1% (19.6%) とそれぞれ1.2ポイント、12.5ポイント下降しましたが、保護者17.2% (12.6%) のみ4.6ポイント上昇しました。現状の生徒の生活態度に対して、保護者が危機感を持っていることの表れと考えられます。保護者と教職員の温度差が出ないように、保護者と連携を図り今後も指導を行っていききたいと思います。

### 3. お子様の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

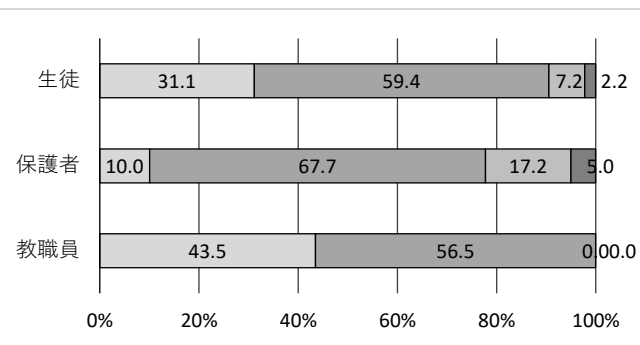
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>39.0</b> (48.8)	<b>55.3</b> (46.8)	<b>4.1</b> (4.1)	<b>1.6</b> (0.2)
保護者	<b>17.1</b> (23.2)	<b>66.1</b> (60.9)	<b>13.9</b> (15.4)	<b>2.9</b> (0.6)
教職員	<b>56.5</b> (45.1)	<b>39.1</b> (52.9)	<b>4.3</b> (0)	<b>0.0</b> (2)



肯定的な回答が、生徒94.3% (95.6%)，保護者83.2% (84.1%)，教職員97.6% (98.0%)と、昨年度より若干減少しているものの、いずれも高い割合を占めています。今後も進路目標の明確化に向けて努力し、的確な進路の指針を示して進路指導の一層の充実を図っていきとともに、保護者との共通理解を得られるよう努力していきたいと思ひます。

### 4. 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。

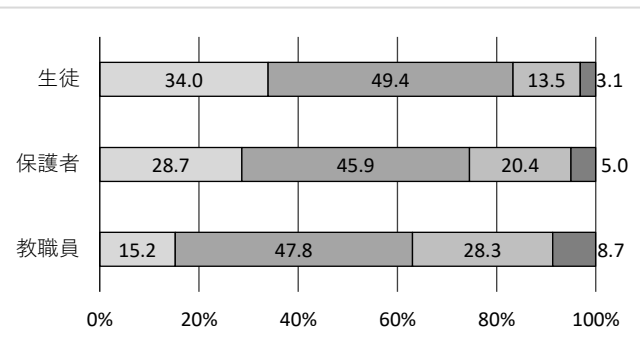
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>31.1</b> (39.8)	<b>59.4</b> (52.9)	<b>7.2</b> (6.8)	<b>2.2</b> (0.5)
保護者	<b>10.0</b> (16.4)	<b>67.7</b> (63.9)	<b>17.2</b> (18.5)	<b>5.0</b> (1.2)
教職員	<b>43.5</b> (43.1)	<b>56.5</b> (54.9)	<b>0.0</b> (0)	<b>0.0</b> (2)



肯定的な回答が、生徒90.5% (93.7%)，保護者77.7% (80.3%)，教職員100.0% (98.0%)と高い割合を占めました。今後は、保護者の肯定的な回答の割合を高めるため、HPや「大商通信」等を活用し、定期的に来校するスクールカウンセラーや本校の相談体制等に関する情報を発信していきたいと思ひます。

### 5. 学校として、部活動は活発に行われている。

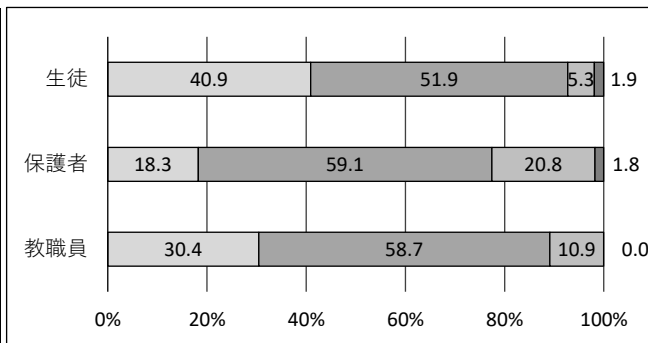
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>34.0</b> (44.5)	<b>49.4</b> (44.5)	<b>13.5</b> (9.2)	<b>3.1</b> (1.7)
保護者	<b>28.7</b> (28.1)	<b>45.9</b> (54.5)	<b>20.4</b> (14.2)	<b>5.0</b> (3.2)
教職員	<b>15.2</b> (21.6)	<b>47.8</b> (43.1)	<b>28.3</b> (29.4)	<b>8.7</b> (5.9)



生徒の肯定的な回答は80%を超えており、部活動に対して満足していることが伺えますが、保護者74.6% (82.6%)と教職員69.1% (64.7%)は生徒よりも低い割合となっています。統合・閉校に向けて部活動数を精選している中、希望する部活動が存在しないことも影響し、保護者と教職員の否定的な回答が上昇したことが考えられます。今後、教職員も生徒も減少していきませんが、生徒が充実した部活動が行えるように指導の工夫を図っていききたいと思ひます。

6. 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

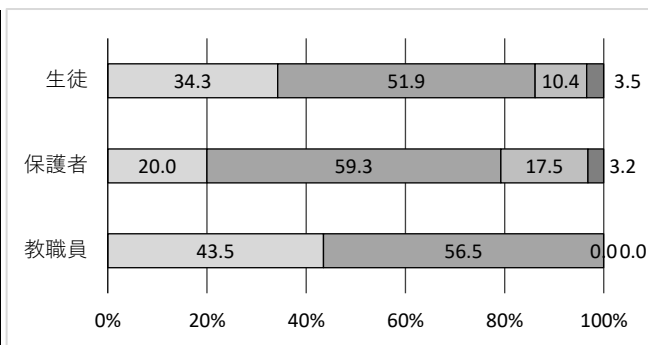
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>40.9</b> (21.9)	<b>51.9</b> (59)	<b>5.3</b> (16)	<b>1.9</b> (3.1)
保護者	<b>18.3</b> (9.4)	<b>59.1</b> (65.8)	<b>20.8</b> (23.1)	<b>1.8</b> (1.6)
教職員	<b>30.4</b> (10.2)	<b>58.7</b> (67.3)	<b>10.9</b> (22.4)	<b>0.0</b> (0)



すべてのカテゴリーで肯定的な回答が増加しました。コロナ禍ではありますが、今年度は感染対策を徹底し、全校生徒が集まって活動する機会をできるだけ設けたため、各種委員会や生徒会執行部が活躍する姿を見る機会が増え、肯定的な回答が増加したと思われます。生徒が安心して活動できるよう、今後も感染対策を万全にし、全職員で生徒会活動を支えていきたいと思ひます。

7. お子様にとって、有意義な学校行事がある。

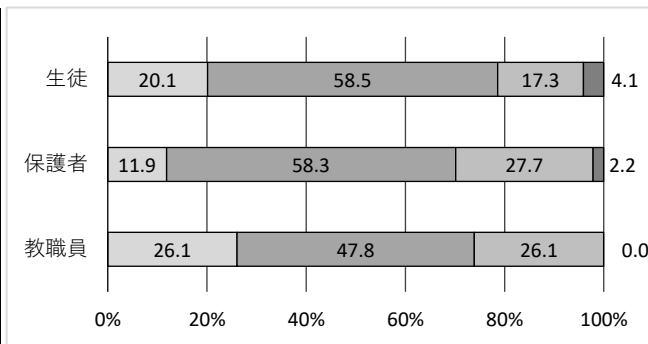
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>34.3</b> (26.7)	<b>51.9</b> (51.8)	<b>10.4</b> (16.9)	<b>3.5</b> (4.6)
保護者	<b>20.0</b> (17.8)	<b>59.3</b> (57.1)	<b>17.5</b> (22.2)	<b>3.2</b> (2.9)
教職員	<b>43.5</b> (30)	<b>56.5</b> (56)	<b>0.0</b> (12)	<b>0.0</b> (2)



すべてのカテゴリーで肯定的な回答が増加しました。今年度は3つの学年が揃う最後の年であり、できるだけコロナ禍前と同じ形態で学校行事を開催したいと考え、感染対策を行いながら実施することができたためと考えられます。来年度も工夫を重ね、生徒の思い出に残るような学校行事を企画していきたいと思ひます。

8. 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

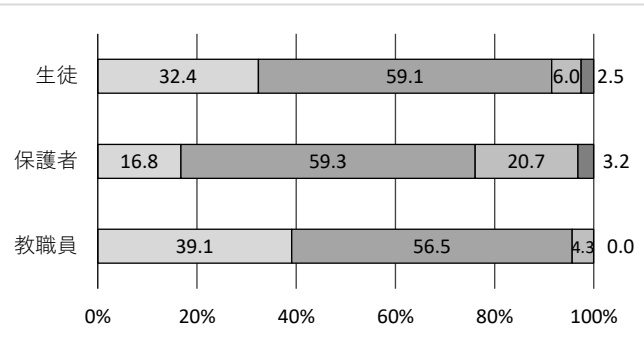
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>20.1</b> (20)	<b>58.5</b> (55.5)	<b>17.3</b> (21.3)	<b>4.1</b> (3.2)
保護者	<b>11.9</b> (15.5)	<b>58.3</b> (54)	<b>27.7</b> (28.7)	<b>2.2</b> (1.8)
教職員	<b>26.1</b> (13.7)	<b>47.8</b> (45.1)	<b>26.1</b> (37.3)	<b>0.0</b> (3.9)



肯定的な回答が、生徒78.6% (75.5%)、保護者70.2% (69.5%)、教職員71.4% (58.8%)と、それぞれ3.1ポイント、0.7ポイント、12.6ポイント上昇しました。昨年度、開校百周年を迎えたことで生徒や保護者が本校の伝統を感じたり、式典等を通じて本校の伝統に触れたりする機会が多くあったためと考えられます。今後は、2年後の閉校に向けて地域や伝統に根ざした活動に取り組んでいきたいと思ひます。

9. 保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

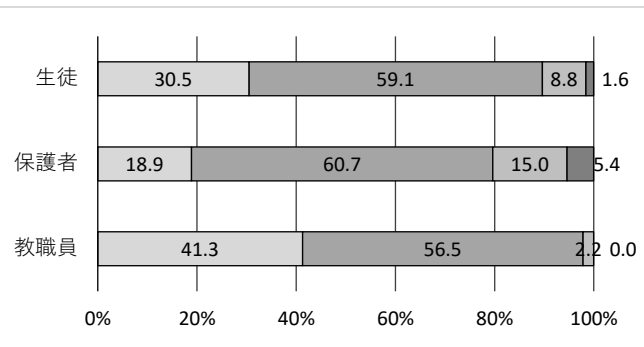
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>32.4</b> (36.4)	<b>59.1</b> (55.5)	<b>6.0</b> (7.1)	<b>2.5</b> (1)
保護者	<b>16.8</b> (21.9)	<b>59.3</b> (58)	<b>20.7</b> (16.6)	<b>3.2</b> (3.5)
教職員	<b>39.1</b> (54.9)	<b>56.5</b> (41.2)	<b>4.3</b> (2)	<b>0.0</b> (2)



肯定的な回答は、生徒91.5% (91.9%)，保護者は76.1% (79.9%)，教職員95.2% (96.1%)と、昨年度とほぼ同じ結果となりました。年に2回、春と秋に行う地震や火災を想定した避難訓練や、年度当初に配布する「大商カレンダー」の防災計画等が周知されてきたためと考えられます。家庭内で、災害時の対応や連絡方法等について話し合っただけのよう、今後も安全に過ごすための情報を発信していきたいと思ひます。

10. 保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

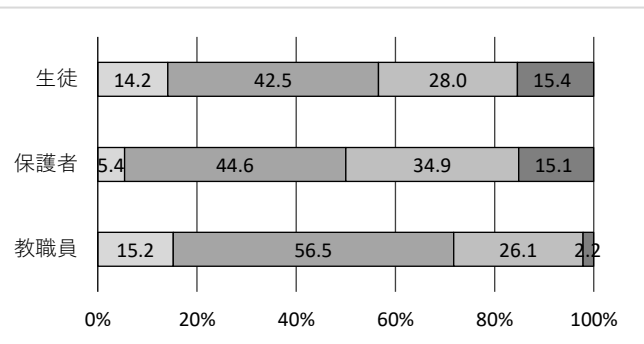
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>30.5</b> (40.9)	<b>59.1</b> (50.7)	<b>8.8</b> (7.1)	<b>1.6</b> (1.2)
保護者	<b>18.9</b> (22.3)	<b>60.7</b> (52.9)	<b>15.0</b> (21.7)	<b>5.4</b> (3.2)
教職員	<b>41.3</b> (39.2)	<b>56.5</b> (47.1)	<b>2.2</b> (11.8)	<b>0.0</b> (2)



生徒の肯定的な回答89.6% (91.6%)は昨年度より若干下降しましたが、保護者79.6% (75.2%)と教職員97.8% (86.3%)は上昇しました。「大商通信」にQRコードを掲載しスマートフォンからの閲覧を可能にしたり、メールの配信数やHPの更新回数を増やしたりしたためと考えられます。今年度は大河原町役場や公民館、郵便局などへの「大商通信」の配置も開始しました。今後も、より多くの方に学校の情報を伝えていけるよう工夫を重ねていきたいと思ひます。

11. 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

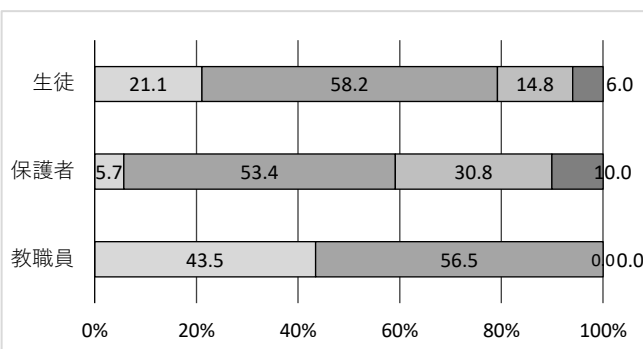
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>14.2</b> (17.5)	<b>42.5</b> (41.6)	<b>28.0</b> (27.6)	<b>15.4</b> (13.3)
保護者	<b>5.4</b> (9.6)	<b>44.6</b> (45.8)	<b>34.9</b> (33.2)	<b>15.1</b> (11.4)
教職員	<b>15.2</b> (14)	<b>56.5</b> (48)	<b>26.1</b> (30)	<b>2.2</b> (8)



肯定的な回答は、教職員が73.8% (62.0%)と比較的高く、昨年度よりも11.8ポイント上昇したのに対し、生徒は56.7% (59.1%)，保護者50.0% (55.4%)とそれぞれ2.4ポイント、5.4ポイント下降しました。昨年度は普通教室にエアコンを設置したことで全てのカテゴリーでポイントが上昇しましたが、今年度は、校舎内の地震被害の復旧工事が完了していないことがポイント下降の一つの要因と考えられます。

12. 学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている。

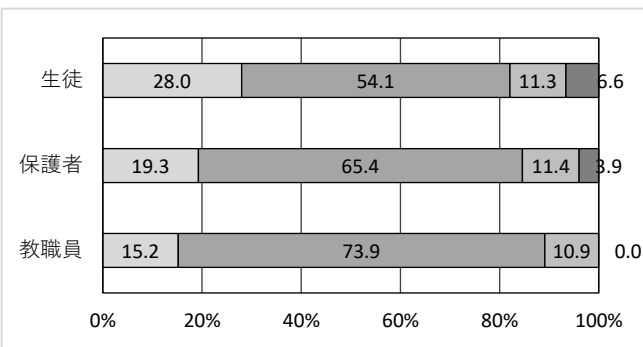
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>21.1</b> (24.7)	<b>58.2</b> (58)	<b>14.8</b> (13.3)	<b>6.0</b> (4)
保護者	<b>5.7</b> (10)	<b>53.4</b> (51.5)	<b>30.8</b> (32.1)	<b>10.0</b> (6.5)
教職員	<b>43.5</b> (41.2)	<b>56.5</b> (52.9)	<b>0.0</b> (3.9)	<b>0.0</b> (2)



肯定的な回答は、教職員100% (94.1%) に対して生徒79.3% (82.7%)、保護者59.1% (61.5%) と、教職員と生徒・保護者との間に温度差がありました。毎月、全校生徒に学校生活アンケートを実施していますが、アンケートに書かず保護者に相談しているケースもあると考えられます。今後は、教育活動全般に於いて全職員がより一層アンテナを高くし、生徒の変化に気を付けながら情報を収集したいと思います。また、学校の取り組みについてHP等で情報を発信したいと思います。

13. お子様の学校生活は充実している。

(%)	1	2	3	4
生徒	<b>28.0</b> (29.6)	<b>54.1</b> (53.5)	<b>11.3</b> (13.4)	<b>6.6</b> (3.5)
保護者	<b>19.3</b> (25.6)	<b>65.4</b> (63.7)	<b>11.4</b> (9)	<b>3.9</b> (1.7)
教職員	<b>15.2</b> (18)	<b>73.9</b> (62)	<b>10.9</b> (18)	<b>0.0</b> (2)

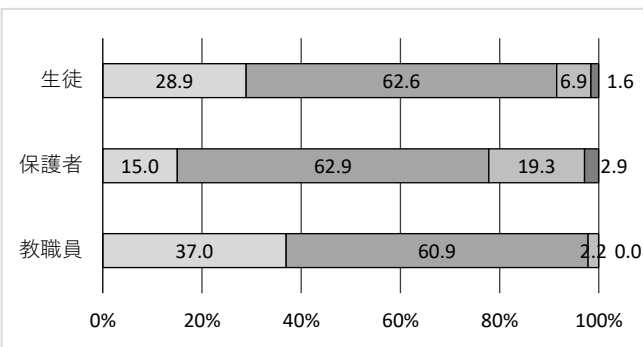


肯定的な回答は、生徒82.1% (83.1%) と保護者84.7% (89.3%) でそれぞれ1.0ポイント、4.6ポイント下降しましたが、教職員88.1% (80.0%) は8.1ポイント上昇しました。コロナ禍前に近い形で行事を実施できたことや学習活動の制限が徐々に解除されつつある状況が教職員のポイント上昇に繋がったと考えられます。しかし、ポイントが下降した生徒・保護者は、それ以外のところに課題があると思われるので、より充実した学校生活を送れるよう取り組んでいきたいと思ひます。

[独自質問]

1. 学校は、学習評価の仕方や進級・卒業の認定条件について、分かりやすく説明している。

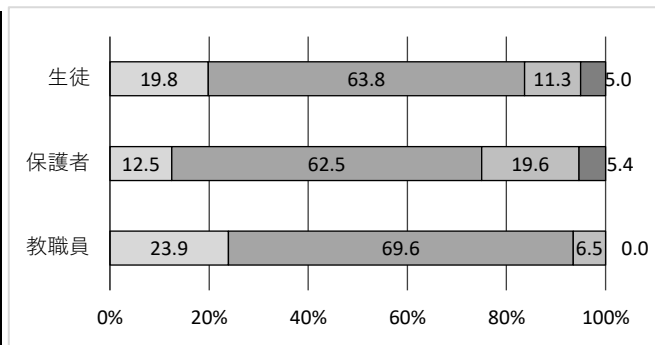
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>28.9</b> (39.3)	<b>62.6</b> (53.6)	<b>6.9</b> (5.9)	<b>1.6</b> (1.2)
保護者	<b>15.0</b> (19.3)	<b>62.9</b> (64.9)	<b>19.3</b> (14)	<b>2.9</b> (1.8)
教職員	<b>37.0</b> (35.3)	<b>60.9</b> (54.9)	<b>2.2</b> (7.8)	<b>0.0</b> (2)



肯定的な回答は、生徒91.5% (92.9%)、保護者77.9% (84.2%) とそれぞれ1.4ポイント、6.3ポイント下降しましたが、教職員97.6% (90.2%) は7.4ポイント上昇しました。観点別評価の完全実施により学習評価の在り方がこれまでと変わったことが、生徒や保護者の理解に繋がっていないのではないかと考えられます。学習評価について生徒・保護者に理解を深めてもらうとともに、適切な評価ができるよう努力していきたいと思ひます。

2. 学校は、生徒をよく理解して、適切な学習指導を行っている。

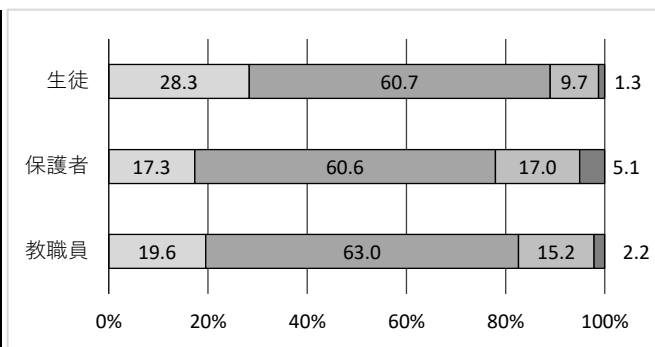
(%)	1	2	3	4
生徒	19.8 (26.8)	63.8 (59.5)	11.3 (11)	5.0 (2.8)
保護者	12.5 (18.4)	62.5 (62.7)	19.6 (16.3)	5.4 (2.6)
教職員	23.9 (21.6)	69.6 (60.8)	6.5 (15.7)	0.0 (2)



肯定的な回答は、生徒83.6% (86.3%)，教職員100.0% (82.4%) はそれぞれ2.7ポイント，17.6ポイント上昇しましたが，保護者75.0% (81.1%) は6.1ポイント下降しました。昨年度より学習指導に絞った設問に改めましたが，学習指導において生徒・保護者と教職員の間での意識の違いが浮き彫りとなる結果でした。学習評価と合わせ，今後とも学習活動がよりよいものとなるよう改善に取り組んでいきたいと思ひます。

3. 本校生は、場面に応じた挨拶ができている。

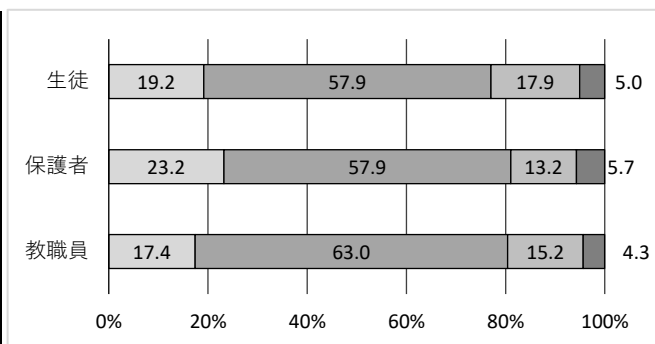
(%)	1	2	3	4
生徒	28.3 (34.3)	60.7 (55.9)	9.7 (8.3)	1.3 (1.5)
保護者	17.3 (21.2)	60.6 (57.1)	17.0 (16.8)	5.1 (4.9)
教職員	19.6 (23.5)	63.0 (37.3)	15.2 (31.4)	2.2 (7.8)



肯定的な回答は，生徒89.0% (90.2%) と教職員は85.75 (68.8%) は高いですが，保護者77.9% (78.3%) は低く，大きな認識のズレが生じています。就職希望者が多い本校において，保護者を含め，外部の方々には生徒の挨拶について厳しい目で見ていることの表れだと考えられます。今年度も感染防止のため声を出しての挨拶はできませんが，今後，感染対策によって元気に挨拶できる環境が整い次第，分け隔て無く挨拶がきるよう指導したいと思ひます。

4. 本校生は、高校生としてふさわしい服装や頭髪等の身だしなみが身に付いている。

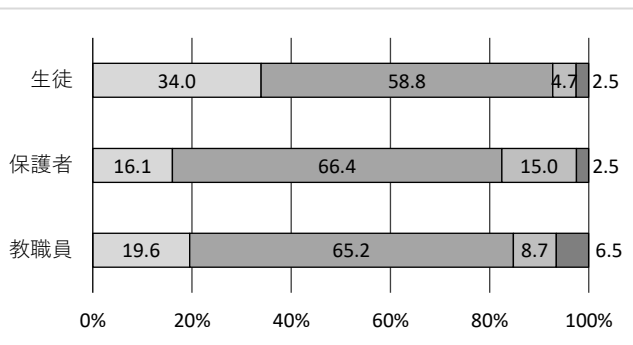
(%)	1	2	3	4
生徒	19.2 (21.2)	57.9 (58.2)	17.9 (15.6)	5.0 (5)
保護者	23.2 (23.8)	57.9 (57.6)	13.2 (15.1)	5.7 (3.5)
教職員	17.4 (13.7)	63.0 (45.1)	15.2 (33.3)	4.3 (7.8)



肯定的な回答は，生徒77.1% (79.4%) と保護者81.1% (81.4%) は昨年度と同程度の割合でしたが，教職員80.9% (58.8%) は大幅に上昇しました。昨年度から始まった“朝のマナーアップ指導”や“見守り指導”など，学年での温度差のない指導が浸透してきたことが教職員の上昇の要因と考えられますが，生徒は必ずしもそう思っていないようです。今後も更に全職員で共通理解を図り，温度差のない指導を続けていきたいと思ひます。

5. 学校は、スマートフォン等の適切な使用について指導を行っている。

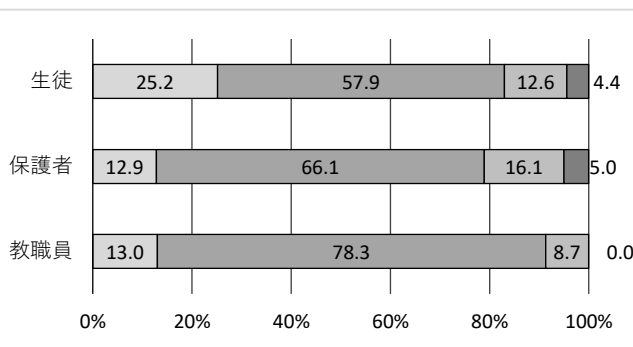
(%)	1	2	3	4
生徒	34.0 (29.3)	58.8 (58.4)	4.7 (10)	2.5 (2.3)
保護者	16.1 (20.2)	66.4 (65.2)	15.0 (12.9)	2.5 (1.8)
教職員	19.6 (22)	65.2 (60)	8.7 (12)	6.5 (6)



肯定的な回答は、生徒92.8% (87.7%)と教職員85.7% (82.0%)は増加し、保護者82.5% (85.4%)は微減しました。今年度より、生徒たちが話し合って作成したルールに基づき、校内でもスマートフォン等の使用を認めています。コロナ禍のオンライン学習やアンケート調査等、学校生活において個人のスマートフォンを使用する機会が多くなりましたが、生徒自身が決めたルール内で使用できています。今後もSNS等でトラブルが生じないように、引き続き指導したいと思います。

6. 学校は、自転車やバイク等の安全教育に取り組んでいる。

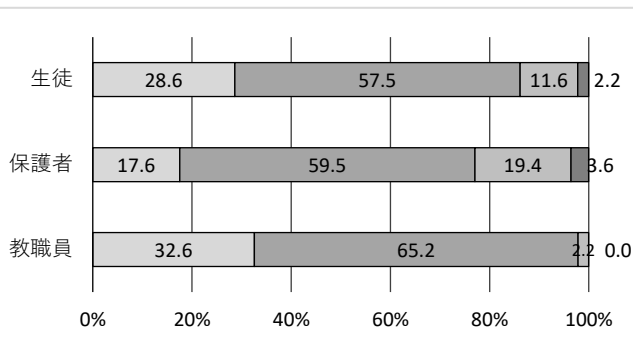
(%)	1	2	3	4
生徒	25.2 (26.5)	57.9 (53.8)	12.6 (16.7)	4.4 (3)
保護者	12.9 (16.4)	66.1 (60.4)	16.1 (21.1)	5.0 (2.1)
教職員	13.0 (20)	78.3 (66)	8.7 (10)	0.0 (4)



すべてのカテゴリーで肯定的な回答が増加しました。年々、本校の自転車登校者数は減少しており、バイク通学者においては今年度は0名です。県内では高校生の通学中の事故が増加しています。今後も、自転車やバイク等の通学利用に限らず、登下校全般の交通規則の遵守や交通事故への注意喚起の徹底を図っていききたいと思います。

7. 学校は、生徒に適した進路情報を提供し、生徒の可能性を引き出そうとしている。

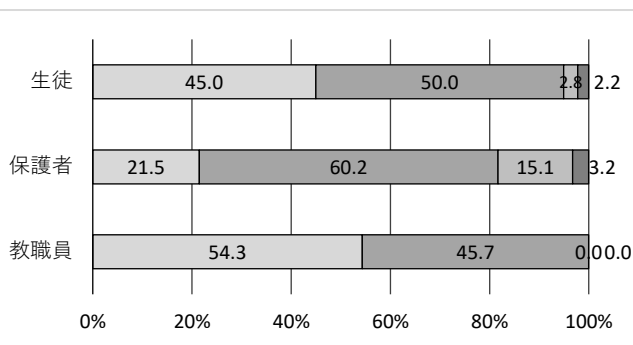
(%)	1	2	3	4
生徒	28.6 (35.1)	57.5 (54.9)	11.6 (8.8)	2.2 (1.3)
保護者	17.6 (17.5)	59.5 (62.9)	19.4 (17.3)	3.6 (2.3)
教職員	32.6 (42)	65.2 (52)	2.2 (4)	0.0 (2)



肯定的な回答は、生徒86.1% (90.0%)、保護者77.1% (80.4%)、教職員100% (94.0%)で、昨年度と比べると、生徒、保護者ともに減少しているのに対し、教職員は増加しており、認識のズレが生じています。定期的な進路希望調査の実施や毎年作成している進路ノートの活用方法をより明確にするなど、生徒及び保護者が求める適切な進路情報の提供や学年団と連携した進路指導を心がけていきたいと思っています。

8. 学校は、外部講師による進路講話やインターンシップなどの進路行事を企画し、キャリア教育を積極的に

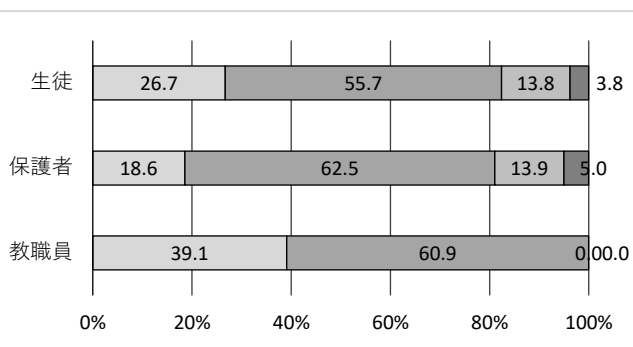
(%)	1	2	3	4
生徒	45.0 (47.1)	50.0 (47.4)	2.8 (4.8)	2.2 (0.8)
保護者	21.5 (19.1)	60.2 (61.5)	15.1 (18.2)	3.2 (1.2)
教職員	54.3 (65.3)	45.7 (32.7)	0.0 (0)	0.0 (2)



すべてのカテゴリーで肯定的な回答が増加しました。今年度は、2年ぶりとなる2年生のインターンシップや外部講師による進路ガイダンスなど、コロナ禍前と同様に進路行事に取り組むことができたためと考えられます。また、3年生を対象にした外部講師による模擬面接の実施により、就職内定率も好調に推移しています。今後も、社会で活躍できる人材育成のため、更なる職業観や勤労観を育成していきたいと思ひます。

9. 学校は、感染症の感染防止に取り組んでいる。

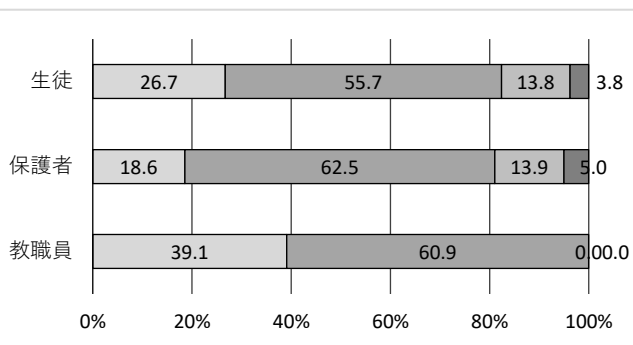
(%)	1	2	3	4
生徒	26.7 (35.2)	55.7 (53.7)	13.8 (6.6)	3.8 (4.6)
保護者	18.6 (26.2)	62.5 (60.3)	13.9 (11.7)	5.0 (1.7)
教職員	39.1 (59.2)	60.9 (38.8)	0.0 (0)	0.0 (2)



肯定的な回答が、生徒82.4% (88.9%)、保護者81.1% (86.5%)、教職員100% (100%)といずれも割合は高いものの、生徒・保護者は昨年度より若干下降しました。コロナ禍が3年目となり、マスクや手指消毒などの感染対策が日常的なものになったことも要因の一つと考えられます。今後も、感染予防を徹底するため、生徒から話を聞いたり、部内で感染予防の現状を分析して対応していきたいと思ひます。

10. 学校は、スクールポリシーを基に、専門的な知識や技能を身に付けさせようとしている。

(%)	1	2	3	4
生徒	32.1	60.7	4.7	2.5
保護者	24.3	62.5	10.0	3.2
教職員	30.4	67.4	2.2	0.0



肯定的な回答は、生徒92.8%、保護者86.8%、教職員97.7%でした（今年度より新たに設けた質問のため昨年度のデータなし）。いずれも高い割合となっており、商業高校として掲げた目標と教育活動が合致していると考えられます。今後も、生徒や保護者の期待に応えられるよう、スクールポリシーに基づき専門的な教育活動を行っていききたいと思ひます。